令和三年 **第一日 一日**

vol.59



自民党·無所属大阪府議団だより

令和2年度9月議会後半において

見合語集員が

万博記念公園駅前周辺地区活性化事業や都市計画道路十三高槻線の現状・今後の見通しなどについて質問をしました

Profile 吹田市選出 昭和38年5月8日生まれ(57歳)/吹田市立山田保育園卒園/吹田市立山田第一小学校卒業/吹田市立山田中学校卒業/大阪府立春日丘高等学校(定時制)卒業/民間企業勤務後の平成11年4月吹田市議会議員初当選/家族構成は妻と3人の息子、そして4人の孫【現在までの主な市議会後署)吹田市議会議員4期/第69代、第70代吹田市議会議長/全国市議会議長会監事/第2代大阪広域水道企業団議会議長/監査委員【現在までの主な地域役職等】、吹田市消防団千里丘分団団員/吹田防犯協議会南山田支部支部長/南山田地区連合自治会顧問/吹田青年会議所のB/ガンバ大阪吹田後援会顧問 【現在の府議会役職等】大阪府議会議員1期/健康福祉常任委員会委員/2025年日本国際博覧会推進議員連盟幹事

万博記念公園駅前周辺地区活性化事業

「大規模アリーナを中核とした大阪・関西を代表する 新たなスポーツ・文化の拠点づくり」の推進

公募の応募結果について

A. 府民文化部長 ナ禍の影響で募集期間を本年4月10 日から10月30日まで延長し、結果は海外の企業が構成団体に含まれている2つの事業者から応募がありました。

最優秀提案者の決定方法は?

Q. 奥谷議員 最優秀提案者はどのようにして、いつ頃決まるのか。また、応募のあった事業者のどちらかを必ず最優秀提案者に選び、契約しないといけないのか。

A. 府民文化部長 最優秀提案者は「大阪府日本万国博覧会記念公園活性化事業者選定委員会」の書類審査とプレゼンテーション審査で(年度内に)決定し、基本協定を締結した上で関係行政機関や地域住民との調整、環境アセスメント等の手続きを経て、契約を締結します。なお、公募要項の基準を満たさない場合は事業者が選定されないこともあります。

外周道路の交通環境問題、渋滞対策



自治会

自治会が要望提出



府は地域住民との調整を事業者任せにせず。 住民の思いを汲み取り、責任ある対応を!

Q. 奥谷議員 本年10月に地域住民の北山田地区自治団体連合会と山一地区連合自治会が知事あてに要望を提出。万博記念公園外周道路の交通環境問題や工事期間中の安全対策等、広く要望した。外周道路の問題、渋滞対策は喫緊の課題であり、私は大阪中央環状線から開発地内に直接アクセスする道路の整備が必要不可欠と考えるが、具体的な対策の検討を望む。

A. 府民文化部長 者の事業計画に基づいて関係部局と連携し、府が中心となり、ご提案のアクセス道路の整備案も含め警察や地元市等、関係機関と検討してまいります。地域住民との調整は事業者任せにすることなく、住民の声に耳を傾けながら丁寧に対応していきます。

本事業に対する知事の思いを問う

Q. 奥谷議員 太陽の塔など1970年大阪万博のレガシーを大切に守りながら緑に包まれた万博

記念公園は、大阪を代表する文化・観光拠点の一つ。せっかく、この地に作るのであれば、地域住民の意見をよく聞き、世界に誇れるものを整備し、感動を与える施設であってほしいと思う。この事業に対する知事の思いを問う。

A. 知 事 国際的なスポーツ大会やコンサート等が開催できる規模と世界最先端の機能を有するアリーナの実現に向けて、地域住民の声も聞きながら、しっかり取り組んでいく。大阪・関西のスポーツや文化のさらなる振興を図るとともに、国内外からの集客促進等を通じ、経済活性化にもつなげていきたい。

都市計画道路 十三高槻線



十三高槻線正雀工区の残る区間の現状と今後の見通し

Q. 奥谷議員 府道大阪高槻京都線の渋滞緩和に寄与するバイパス道路として吹田市域から摂津市域にかけて十三高槻線正雀工区の整備が進められている。摂津市域は完了し、残る区間を現場で確認したが、まだ多くの工事が残っており、途切れることなく工事を進め1日でも早い供用に取り組んでいくべき。残る区間の現状と今後の見通しは。

A. 都市整備部長 残る穴田川水路から吹田市道岸部南南正雀2号線までの約650mの区間は現在、橋梁の工事を進めており、年内には阪急京都線より東側の下部工事が完了予定。引き続き、西側の下部工事に着手するなど橋梁工事を進め、令和5年度末の本線橋梁部の供用、6年度内に側道も含めた事業完了を目標に着実に取り組んでいきます。

十三高槻線と大阪中央環状線との交差部の 平面交差形態について現在の検討状況と今後の進め方

北摂地域の悲願・・・・

都市整備中期計画へ位置付け、スピード感をもった整備を!

Q. 奥谷議員 十三高槻線と大阪中央環状線の交差部では十三高槻線の通行車両は大阪中央環状線を通り抜けられないことから、長年、交通渋滞を誘発している。このような中、本年8月に吹田市、茨木市、摂津市の3市長が府に対し、小規模かつ低コストで整備が可能な暫定平面交差による交差化について、次期「大阪府都市整備中期計画」への位置付けを要望。私も9月に合同視察で大阪中央環状線の混雑状況等を確認したが、平面交差化の必要性を強く感じ、次期中期計画への位置付けが必要と考えている。現在の検討状況と今後の進め方を問う。

A. 都市整備部長 現在、交差点改良の課題解決に向けて 様々な観点から検討を進めており、今後、 十三高槻線正雀工区や豊中岸部線の整備など周辺道路のネットワークの変化に伴う、将来交通予測や他のルート活用の方策等も含め、大阪府警など関係機関との協議を行った上で平面交差化について見極めていきます。